

組合員の新しいくらしの実現を目指す、生協の横断的な取り組み 「DX-CO・OPプロジェクト」本格始動 ～3つのコンセプトと具体的施策を決定～

日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：本田英一）は、コープ東北サンネット事業連合、コープデリ連合会、東海コープ事業連合と4者共同で組合員の新しいくらしの実現を目指す、生協の横断的な取り組み「DX-CO・OPプロジェクト」を推進するための3つのコンセプトと具体的施策を決定しましたのでお知らせいたします。

日本生協連は、2020年6月に採択した「2030年ビジョン」のひとつ、「生涯にわたる心ゆたかなくらし」に向けた具体的なテーマの中に、「ICTによる事業・活動でのデジタル変革の推進」を掲げています。日本生協連はこの取り組みを進めるため、昨年3月より、4者共同で生協のデジタルトランスフォーメーションを目指す「DX-CO・OPプロジェクト」に取り組んでまいりました。

このプロジェクトでは、3つの連合会が先行して実験に取り組み、成果が確認できた施策から順次、日本生協連を通じて全国の生協への導入を進めていきます。

●「DX-CO・OPプロジェクト」3つのコンセプトと具体的施策

本プロジェクトは、単なるシステムの開発導入にとどまらず、デジタルを活用した組合員の「あたらしいくらし」を実現します。また同時に、生協職員の働き方も変えていきます。

コンセプト 1：「家族との豊かな関係構築を支援するパートナー」

デジタル中心の生活者に向けた、あたらしいくらしの実現

献立を考えるとところから、食材購入、調理、食事、後片付けといった一連の流れの中での不便さを解消し、時間的なゆとりを生み出すだけでなく、家事の習熟度にあった献立提案や自分に合った商品を探しやすくすることで、ゆとりあるくらしを実現します。

また、将来的には、事業横断的なID管理を行うことを目指します。これにより組合員は、一度お住まいの地域の生協などに加入すると、その後引っ越しをしたり共済・福祉・介護などのサービスに加入する場合でも、同じIDを引き継いで使えるため、脱退・再加入などの手続きが不要になります。



勤務先での空き時間に、献立から必要な食材を注文できるように

具体的施策	<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめのレシピや一週間分の献立をAIが提案し、一括で必要な食材を注文できる仕組みを実現 ・自分にあった商品をAIが選んでくれる仕組みを実現 ・店舗でも宅配でも好きな時に好きな方法でお買い物ができ、多様な決済手段を実現 ・世帯ごとではなく、個人ごとのID管理で、ひとりひとりに合ったサービス提供を実現
-------	--

※関係する2030年ビジョン：「（1）生涯にわたる心ゆたかなくらしを実現」

コンセプト 2：「流動的な地域共同体のプロデューサー」

店舗を拠点とし、趣味や関心でつながる地域の活発なコミュニケーションを後押し

SNSを活用することで、毎回同じ時間に固定のメンバーで集まるのではなく、好きな時間に興味のあるトピックを選んで集まれるような、流動的なつながりを地域で持つことを支援します。

さらに、組合員同士のつながりから、助けがほしい時に手を借りたり、自分の空いた時間に自分の能力を活かして手助けをしたりする仕組みを整えていきます。



組合員が託児を担い、地域で子どもを育てる仕組み（みやぎ生協）。今後、組合員同士が助け合う仕組みを整備

具体的施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSを活用し、地域のつながりをデジタル上で実現する仕組みを提供 ・ 食への関心やライフスタイルが似ている方々に生協の食材提案を行い、興味関心でつながり合いながら生協に関心を持っていただく
-------	---

※関係する2030年ビジョン：「（2）安心して暮らし続けられる地域社会」

コンセプト 3：「安心して生協のサービスを利用いただくためのサポーター」

配達コースの最適化と組合員へのサービス品質向上

配達コースを最適化するシステムを実現することで、なるべく効率的な配達を行い、職員の負担を減らします。また、配達担当の業務効率化を図るとともに、組合員との対話の時間を創出することで、組合員にとっても安心して宅配サービスを使い続けることができる環境を生み出します。

配達担当の力量に応じた作業指示とアドバイスを行う仕組みを提供することで、早期の能力向上と、サービス品質のムラを極力なくします。



組合員へのサービス品質向上に
つなげるために AI 技術を活用

具体的施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配達担当のためのデジタル・コンシェルジュサービスを実現 ・ 配達コースを最適化する仕組みを実現
-------	--

※関係する2030年ビジョン：「（4）組合員と生協で働く誰もが生き活きと輝く生協」

<お問い合わせ先>
 日本生協連 広報部
 TEL：03-5778-8106

<参考資料>

■「DX-CO・OPプロジェクト」と「2030年ビジョン」の関係について

「DX-CO・OPプロジェクト」の施策は、日本生協連が2020年6月に採択した「2030年ビジョン」のうち、1、2、4の3つと深く関係しています。

2020年6月12日発表ニュースリリース：日本生協連、第70回通常総会で「2030年ビジョン」を採択
https://jccu.coop/info/newsrelease/2020/20200612_01.html

・生涯にわたる心ゆたかな暮らしを実現 ※「2030年ビジョン」(1)

私たちは、食を中心に、一人ひとりの暮らしへの役立ちを高め、誰もが生涯を通じて利用できる事業をつくりあげます

・安心して暮らし続けられる地域社会 ※「2030年ビジョン」(2)

私たちは、生活インフラのひとつとして、地域になくてはならない存在となり、地域のネットワークの一翼を担います

・組合員と生協で働く誰もが生き活きと輝く生協 ※「2030年ビジョン」(4)

私たちは、未来へと続く健全な経営と、一人ひとりの組合員と働く誰もが生き活きと輝く生協を実現します

■「DX-CO・OPプロジェクト」の協力企業について

「DX-CO・OPプロジェクト」は、スタートアップ企業の協力のもと各施策に取り組んでいます。

<レシピから注文する仕組みの整備>

- ・株式会社AIトラベル：https://aitravel.company/about/?_fsi=psqQGdGR
- ・株式会社フライウィール：<https://www.flywheel.jp/>

<生協のサービスを使いやすくするID管理の仕組みの整備>

- ・株式会社bitFlyer Blockchain：<https://blockchain.bitflyer.com/>